

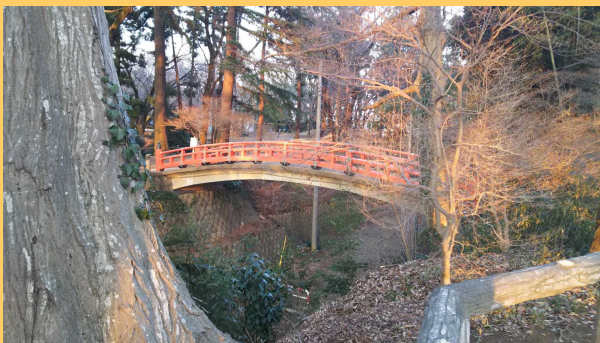
# 見学したお城【栃木】

## < 1 > 足利氏館【栃木県足利市】（2008年8月）



【足利氏館（鑲阿寺）】日本100名城。足利氏館は、平安時代末期、源義国によって築かれたと言われる。その孫の足利義兼が大日如来を祀り、鑲阿寺となったそうです。現在、遺構らしき建造物はみあたらないが、外を囲う土塁と堀にその雰囲気を感じさせる。

## < 2 > 小山城【栃木県小山市】（2018年3月）



【小山城（祇園城）】1148年に小山政光による築城と言われている。400年以上小山氏の居城であったがその後、北条氏、本多氏の城となる。現在、国道4号線から少し入ったわかりづらい場所にあるが、敷地は広く、土塁など城の遺構が残されている。公園として整備されているが、説明などはあまりない。

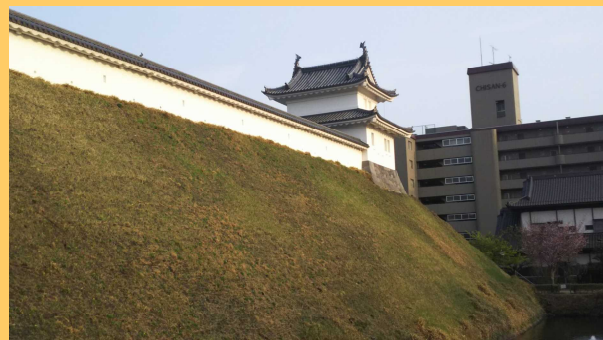
### < 3 > 鷲城【栃木県小山市】（2018年3月）



【鷲城】思川沿いにある城址。築城ははっきりしないが、室町時代には存在していた。小山氏の居城の一つと考えられている。

現在は、本丸跡が鷲神社になっている。まわりを歩き回ると、遺構がみられるようだが、薄暗くて見られなかった。

### < 4 > 宇都宮城【栃木県宇都宮市】（2018年4月）



【宇都宮城】平安時代後期の築城と伝わる。約500年間宇都宮氏の居城であった。その後も関東七名城の1つ、将軍が東照宮へ参拝する際の宿泊所でもあり栄えた。戊辰戦争で焼失。平成19年に櫓が復元されるなどして公園として整備されているが、近代的に復元している感じで、お城の遺構としては、少し残念な感じがした。

### < 5 > 勝山城【栃木県さくら市】（2018年4月）





【勝山城】宇都宮氏を祖とする氏家氏の居城。その後、芳賀氏の支城となる。入口は、目立たないが、奥は深く、二の丸跡にはさくら市ミュージアム荒井寛方記念館が建てられている。本丸跡は、城址公園になっている。近くを流れる鬼怒川が見下ろせる。

## < 6 > 黒羽城【栃木県大田原市】（2018年4月）



【黒羽城】1576年那須氏家臣の大関高増により築城。那須氏は改易されたが、大関氏は、外様大名では珍しく、明治の廃藩置県まで、藩主を務めた。松尾芭蕉とのつながりも深いようで記念館もある。城の遺構は、散在している感じがした。

## < 7 > 大田原城【栃木県大田原市】（2018年4月）



【大田原城(龍城)】1545年に大田原資清によって築かれた城。明治まで大田原氏の居城であった。駐車場から急な坂道を登ると城址が公園として整備されている。土塁、空堀などが残されている。



< 8 > 上三川城【栃木県上三川町】（2019年3月）



【上三川城】宇都宮家の家臣横田氏の居城。現在、城址公園があるが、どこにあるのかわかりづらい。民家の密集する中にある。公園の周囲を掘が囲い、その内外に遊歩道が造られている。

< 9 > 飛山城【栃木県宇都宮市】（2019年7月）



【飛山城】鎌倉時代に芳賀高俊により築城。その後芳賀氏の居城であったが、小田原征伐にて廃城となる。現在は史跡公園となっている。歴史体験館がある。城址には土塁、空堀等がみられ、木橋も復元されている。所々に案内板があり、広い敷地が整備されている。

< 10 > 壬生城【栃木県栃木市】（2019年7月）



【壬生城】 1462年壬生胤業によって築城。壬生家の居城となるが、小田原征伐後、徳川家の城となる。結城秀康をはじめ、様々な城主にかわる。1712年に鳥居家が城主となると明治まで8代続く。その縁から、城址公園の隣には家康の家臣・鳥居元忠を祀った精忠神社がある。



HOME



お城HOME